

カンサス：小麦作柄と気象状況

2005 年 7 月 26 日

2005 年 7 月 24 日現在：

7 月 24 日に終わる 1 週間の気象は高温・乾燥であった。1 週間の州平均農作業稼働日数は 6.3 日（前週：6.6 日）であった。最高気温は各地で 100 度 F を超え、州西部から中央部では特に気温が上昇した。風と高温の為、土壌水分は大幅に減少した。

品質概況：カンサス州農業統計局及び Kansas Grain Inspection Service Inc. の 7 月 21 日発表による品質概況（57 郡の 6,583 貨車ロットサンプル）の分析結果は次の通りであった。

Crop	Test Weight Lbs/bu	Protein % Mois. 12 % basis	Moisture %	Grade		Damaged Total %
				No. 1	No. 2	
2005	60.8	12.3	11.2	75	24	0.2
2004	59.7	12.8	11.6	51	36	0.7
10 Yr Ave.	60.3	12.1	11.6	NA	NA	0.2

10 Years Average：1994-2003

Shrunken & Broken kernels の平均値は 1.2%、2004 年産平均値は 1.3%、10 年平均値は 1.6%であった。

州政府の品質調査プログラム以外に、2,530 個の自主サンプルが Kansas Grain Inspection Service で分析され、その結果では、平均容積重は 60.7 lbs/bu、蛋白質：12.5%、水分 11.5%であった。これ等の格付けでは 40%が US No. 1、54%が US No. 2、No. 3 が 5%それ以下が 1%であった。昨年自主検査に持ち込まれた総サンプル 12,862 個の分析値の平均では、容積重：58.7lbs/bu、蛋白質：13.2%、水分：11.6%であった。

2005 年産冬小麦の品質傾向は、生育期から収穫期にかけての気象条件を反映し、高容積重、比較的低目の蛋白質含有量、低被害粒。全般に良品質の小麦と言える。

生産量予想：

7 月 1 日付け USDA 冬小麦の生産予想では、単位収量は 39.0 bu/ac となり、6 月 1 日予想より 1.0 bushels の減少となったが、昨年実績（37.0 bu/ac）より良い結果であった。6 月の完熟期の天候不順、低温がマイナス要因と思われるが、品位的には高容積重が期待される。詳細は別表の通り。

土壤水分状況：2005年7月24日現在

Topsoil

	NW	WC	SW	NC	C	SC	NE	EC	SE	State	Week	Year
Very Short (%)	21	25	30	16	12	3	9	0	4	12	4	1
Short (%)	43	58	64	58	47	29	57	44	38	48	45	11
Adequate (%)	36	17	6	26	41	68	34	56	58	40	50	82
Surplus (%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6

Subsoil

Very Short (%)	14	20	28	10	6	8	6	0	0	9	5	10
Short (%)	58	54	58	51	42	18	32	34	12	39	32	28
Adequate (%)	28	26	14	39	49	74	62	66	88	52	62	61
Surplus (%)	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	1

Week means Last Week, Year means Last year.

Source : Kansas Agricultural Statistics Service

7月1日付けUSDA発表の冬小麦の生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
			2004	2005		2004	2005
	2004	2005		June 1	July 1		
KS	8,500	9,600	37.0	40.0	39.0	314,500	374,400
USA	34,462	34,271	43.5	44.1	44.5	1,499,434	1,525,302

該作柄レポートに関するご質問等は下記までにお問い合わせ致します。

小川正晃 : Email ogawa.max@omicnet.com